学校名（　　）　年　名前（　　）

①なぜ、ひな5羽を保護したのですか？

②安全のため、どのような方法で保護しましたか。

③この記事を読んで、どう思いましたか。感想を書きましょう。

◎考えてみよう！ コウノトリが野外でくらすためには、どんな環境が必要ですか。自分にできることも考えてみましょう。

神戸新聞 2013年06月04日 火曜日 面名 但馬 地方 23ページ

京丹後で営巣 コウノトリ家族
ひな5羽を保護

京都府京丹後市久美浜町の人工巣塔で育っていたコウノトリのひな5羽が3日、県立コウノトリの郷公園（豊岡市祥雲寺）の職員らによって一時保護された。ひなの父鳥は約2週間前に事故死しており、1羽で子育てする母鳥の負担などを考慮して郷公園で育成の後、再び野外に放つ予定。（長嶺麻子）

コウノトリの郷公園の職員らによって巣から保護されるコウノトリのひな＝いずれも京都府京丹後市久美浜町永留

「郷公園」で育成し再び野外へ

この人工巣塔では20　して注目される中、昨年　り、母鳥1羽での餌やり
12年から、豊岡市城崎　は3羽のひなを巣立たせ　が続いていた。見かねた
町戸島で生まれたいずれ　ていた。　住民らが近くで給餌に励
も放鳥2世の雄（08年生　今年は5羽と、野外で　むなどしたが、巣立ちま
まれ）と、同市野上生ま　は最多のひなを育てて　で5羽を育てるのは困難
れの雌（同）が営巣。兵　いたが、先月20日から父鳥　と判断して京丹後市など
庫県外で初めての繁殖と　が突如帰らない状態とな　に働きかけ、同市が兵庫

父鳥が事故死 母鳥の負担を考慮

5羽そろって親鳥の帰りを待つひなたち＝5月22日撮影

県に保護を依頼した。

保護の日程は、ひなが丈夫になり、驚いてもまだそれほど飛べない6月化後45日程度をめどに決定。作業は郷公園と京丹後市の職員12人体制で構え、高所作業車で巣に近づき、網をかけるなどして1羽ずつ捕獲した。

作業の様子を見守っていた市民団体コウノトリネット京丹後の野村重嘉代表(78)は「母鳥のことを思うと複雑な気分だが、ひなたちが無事に成長し、この地で巣立つ日を待ちたい」と話していた。

NEXTに動画

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

神戸新聞NIEワークシート／小学校高学年：道徳、理科、総合学習（環境）、朝NIE